

3 教育本部関係

2023年度 教育本部事業報告

栃木県スキー連盟教育本部会議

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2022年11月12日（土）
3. 会 場 パルティ（とちぎ男女共同参画センター）
4. 責 任 者 篠原浩
5. 担 当 理 事 分田久貴
6. 参 加 者 本部長，理事，専門委員，技術員，部員 総数51名
7. 概 要 2023 シーズンの各行事の進め方及び調整事項、決算方法の確認を行った。シーズン直前の打合せ会議となり、充実した内容の会議ができた。特に、シクミネットでの手続きについて確認ができたことは有意義であった。
また、理事会に引き続き、SAJスキー・スノーボード技術員及びSAT技術員、教育本部員を加えての全体会議を行った。内容は、理事会で提案された内容を、現場サイドからの意見を取り入れより充実した行事となるための打合せ会議を行った。シーズン直前に打合せができ、より内容の濃い議論ができた。

SAJスキー技術員及びSAT技術員会議

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2022年12月10日（土）・11日（日）
3. 会 場 ハンターマウンテン塩原
4. 講 師 芳野哲也，斎藤貴次
5. 参 加 者 専門委員2名，SAJ 教育本部スキー技術員・SAT 技術員 19名
6. 概 要 暖冬で降雪量が少ない中、ハンターマウンテン塩原の人口降雪により研修に必要な斜面を活用することができ有意義な会議開催となった。
1日目は、SAJ 技術員と SAT 技術員をグループ化し相互に意見交換を実施しながら今シーズンのテーマについて技術員間でディスカッションしながら研修を進めることで理解を深めることができた。
2日目は研修の進め方と指導者検定種目の要領を確認した。
2日間日帰りで開催することで、SAJ 技術員・SAT 技術員間のコミュニケーションを十分に取ることができ有意義な会議であった。

栃木県スキー技術選ジャッジ候補者研修会

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2023年1月9日（月）祝日
3. 会 場 ハンターマウンテン塩原
4. 本 部 スキー場センターハウス
5. 役 員 芳野哲也、齋藤貴次
6. 参 加 者 7名
7. 概 要 本年度より栃木県スキー技術選大会のジャッジマンの技術向上を目的として新規に開催となった。選手強化合宿（2次）に併せて開催することで、実際の選手の滑りに対して、競技委員長、審判長を中心ジャッジマン全員でディスカッションすることで大会での技術的観点等の意識統一が図られ、大変有意義な研修会となった。

全日本スキー連盟指導者研修会及び 公認スキー検定員クリニック(第1次) 全日本スキー連盟公認スキー学校教師研修会 SATスキーインストラクター(認定スキー指導員)研修会(第1次)

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2022年12月17日（土）～18日（日）
3. 会 場 ハンターマウンテン塩原
4. 責 任 者 齋藤伸幸
5. 県 連 役 員 齋藤会長、後藤副会長
6. 教 育 本 部 役 員 篠原教育本部長、新井副本部長、分田副本部長、佐山理事、齋藤理事、橋本理事、網理事、増子委員
7. 担 当 理 事 齋藤敦史
8. 主 任 講 師 芳野専門委員
クリニック主任：齋藤専門委員
9. 講 師 高野正基、児山将之、増渕耕樹、加藤康雄、川口 悟、戸塚智子、塩生康幸、後藤知昭、矢野隆司、河崎英夫、渡辺勇太、新田義之、佐藤公一、岡 豊、小澤大介、泉 悠太、吉成 聡
10. 参 加 者 163名
11. 日 程

1日目	受付・検温	8:00～ 8:45
	実技研修	9:30～12:00
	実技研修	13:00～15:30
2日目	受付・検温	8:30～ 9:00
	実技研修	9:00～12:00
	クリニック講習	13:00～15:00
12. 概 要
 - ・研修会について
今シーズンも、理論については受講者がeラーニングで事前に動画を視聴してくる方法をとった。また、昨年同様に開会式及び閉会式の中止、参加者全員の検温、食事の時間を分散、各班の研修するコースの分散など密を避けるための対策をとった。
 - ・指導者研修会について
eラーニングとハンドブックの内容を中心に、今年度のテーマを講習

の中で確認した。内容が少し難しかったため、初日午前にはデモンストレーションを実施して技術員の滑りを見学してもらい、各班ごとに講師からテーマについて詳しくレクチャーを行った。受講者が e ラーニングおよびハンドブックを読み込んでいたため内容の理解と、実際の滑りでも表現できるとても充実した研修会を執り行うことが出来た。

・クリニックについて

クリニックについては班編成を変更し、班ごとにジャッジの要領や着眼点について確認した。種目の滑走も行うことで、受講生自らが検定種目の確認とジャッジの着眼点をしっかり確認することが出来た。

13. 所 見 今年のテーマである、「ターン始動時のポジショニング」について、しっかりと研修できたと思われる。雪不足ではあるが、スキー場の多大なご協力により、山頂からロッジまで滑り降りるバーンを確保でき、充実した研修会を実施することができた。天候は1日目は雪で気温が低く寒い1日であったが、2日目は晴れとなり、良好な雪質のバーンコンディションであった。

全日本スキー連盟指導者研修会及び 公認スキー検定員クリニック(第2次)

SATスキーインストラクター(認定スキー指導員)研修会(第2次)

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2022年2月25日(土)～26日(日)
3. 会 場 日光湯元スキー場
4. 責 任 者 斎藤伸幸
5. 県 連 役 員 高松守一副会長
6. 教 育 本 部 役 員 佐山理事
7. 担 当 理 事 網理事
8. 主 任 講 師 芳野専門委員, クリニック主任: 川口技術員
9. 講 師 芳野哲也, 川口 悟, 岡 豊, 泉 悠太
10. 参 加 者 39名
11. 日 程

1日目	受付・検温	9:00～9:30
	実技研修	10:00～12:00
	実技研修	13:00～15:30
2日目	受付・検温	9:00～11:30
	実技研修	13:00～15:00
12. 概 要
 - ・研修会について
今シーズンも、新型コロナウイルス感染の影響により、理論が e ラーニングとなり、受講者が事前に動画を視聴してくる方法をとった。また、昨年同様に開会式及び閉会式の中止、参加者全員の検温確認などの対策をとった。
 - ・指導者研修会実技について
今年度のテーマを講習の中で確認した。班ごとに講師からテーマについて詳しくレクチャーを行われ充実した実技研修となった。
 - ・クリニックについて
クリニックについても研修会と同様に理論は e ラーニングの事前視聴であった。全班合同でジャッジの要領や着眼点について各種目の模擬滑走をもとにした確認を行った。

13. 所 見 今年のテーマである、「ターン始動時のポジショニング」について、しっかりと研修できたと思われる。2 日間ともゲレンデ上の気温は低く雪質も硬めであったが、良好なバーンコンディションが確保でき、充実した研修会を実施することができた。

第60回栃木県スキー技術選手権大会 (兼全日本及び北関東大会選考会)

1. 主 催 栃木県スキー連盟
 2. 期 日 2023年1月21日(土)～22日(日)
 3. 会 場 ハンターマウンテン塩原
 4. 本 部 スキー場センターハウス2F
 5. 大会会長 斎藤伸幸
 6. 大会委員長 篠原 浩
 7. コーディネーター 新井和夫、芳野哲也
 8. 技術代表 斎藤貴次
 9. 競技委員長 川俣聖寿
 10. 審 判 長 高野正基
 11. 審 判 員 児山将之、川俣聖寿、加藤康雄、川口 悟、戸塚智子、後藤知昭、矢野隆司、鈴木幸展
 12. 点 呼 S A J スキー技術員・S A T 技術員
 13. スタート審判 S A J スキー技術員・S A T 技術員
 14. コー ス 係 S A J スキー技術員・S A T 技術員
 15. 計 算 記 録 分田久貴、松本 忍、櫻井 敦
 16. 現 地 総 務 泉 裕之、人見俊之、網 清夫、荒井 始
 17. 参 加 人 数 61名
 18. 概 要

1 日目は強風によりゴンドラ及び第3ペアリフトが競技途中からの運行となったが進行は多少遅れた程度で終了することができた。

2 日目は晴天に恵まれた。二日間とも絶好のバーンコンディションの中事故やけが人を出すこともなく、無事に大会を開催することができた。選手各位の協力と、ハンターマウンテン塩原様には素晴らしいコートをご提供いただき、スムーズに大会を運営できたことに感謝申し上げますとともに、一刻も早いコロナ禍の全面終息を願い、年々減少している参加者の増加に期待したい。

今年は、北関東大会が1/27～29日の期間で鹿沢スキー場で開催される。栃木県からは今大会の結果から、男子24名女子6名合計30名が参加することとなった。

八方尾根で開催予定の全日本技術選手権大会は本大会及び北関東スキー技術選手権大会の上位選手の中から男女それぞれ選出する。

※61名の参加申し込みに対し二日目1名のキャンセルがあった。

19. リ ザ ル ト 総合成績
 男子 1位 福田 司(今市) 女子 1位 竹内さんご(ハンター)
 2位 松田師成(黒磯) 2位 中澤乃愛(ハンター)
 3位 小笠原一徳(宇都宮) 3位 長島瑞希(足利)

第15回オープンスプリングスキー技術選手権大会

2023ジュニアスキー技術選手権大会

第12回学童スキー技術選手権大会

2023オープンマスタースキー技術選手権大会

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2023年3月26日(日)
3. 会 場 ハンターマウンテン塩原
4. 本 部 スキー場センターハウス2F
5. 大会会長 斎藤伸幸
6. 大会役員 入江正夫
7. 大会委員長 篠原 浩
8. 大会アドバイザー 新井和夫
9. 技術代表 芳野哲也(ジュリー)
10. アシスタント TD 齋藤貴次(ジュリー)
11. 競技委員長 神山健樹(ジュリー)
12. 審 判 長 児山将之
13. 審 判 員 高野正基, 神山健樹, 川俣聖寿, 後藤智明, 河崎英夫, 渡辺勇太, 鈴木幸展, 新田義之
14. 点 呼 SAJスキー技術員・SAT技術員
15. スタート審判 SAJスキー技術員・SAT技術員
16. コー ス 係 SAJスキー技術員・SAT技術員
17. 計 算 記 録 分田久貴, 松本 忍, 櫻井 敦
18. 現 地 総 務 広 報 泉 裕之, 網 清夫, 人見俊之
19. 参 加 人 数 67名
20. 概 要
 - スプリング技術選手権 27名(男子24名・女子3名)
 - ジュニア技術選手権 3名(男子のみ)
 - 学童技術選手権 2名(男子1名・女子1名)
 - オープンマスタースキー技術選手権 35名(男子33名・女子2名)
21. 所 見

本大会は申込者75名に対し当日参加者は8名減の67名となった。天気は雨のため、ゲレンデが緩んでコンディションは湿雪であり積雪は一部コースで少ないため、不整地種目はキャンセルとなった。転倒者は数名あったが怪我人・事故もなく滞りなく実施できた。

次年度は積雪の状況から開催時期においては前倒しで検討する必要性がある。また各クラスの参加者を募集したが、オープンマスタースキーでは女子Aクラスで申し込みがなかったのに加え、他のクラスでも参加者1名のみが4クラス(学童男女及びマスタースキー女子B、C)もあった。参加者増を図ることをはじめ、底辺拡大や愛好者を如何に増やせるかなど取組みが必要である。
22. リ ザ ル ト

男子Cクラス1位 松田文平（茨城県）
 男子Bクラス1位 菅原 豊（栃木県）
 男子Aクラス1位 安達信隆（茨城県）
 女子Cクラス1位 小野口秀子（栃木県）
 女子Bクラス1位 初谷美智代（栃木県）

指導員・準指導員受検者養成講習会(A)

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2022年11月27日（日）
3. 会 場 パルティ（とちぎ男女共同参画センター）
4. 責 任 者 篠原 浩
5. 担 当 理 事 富山英幸、橋本晃輔
6. 講 師 分田副本部長、高野正基、後藤知昭、戸塚智子、渡辺勇太
7. 参 加 人 数 27名
8. 日 程
 - 1 開 会（9：45）
 - 2 挨拶…篠原教育本部長
 - 3 スタッフ・講師紹介
 - 4 講 習Ⅰ
 - ① 受検者自己紹介
 - ② 受検に向けて…分田副本部長、富山委員長
 - ③ 理論講習…「受検のために」後藤技術員（全日本HP動画視聴）
 - ④ 準指導員に合格して…2022年度合格者 条川弘一 様（受検経験者からのアドバイス）
 - 5 講 習Ⅱ
 - ⑤ 理論講習
 - ・高野技術員…基礎パラレルターンへの指導の展開
 - ・渡辺技術員…指導現場の現状と安全への配慮
 - ・戸塚技術員…学科試験（理論検定）への対応
 - ⑥ 受検資格別グループディスカッション
 - ・指導員班…高野技術員
 - ・準指導員班…後藤・戸塚技術員
 - ・SATインストラクター…渡辺技術員
9. 概 要

開会後、篠原本部長から受検当たりの心構えと激励をお言葉をいただき、スタッフの自己紹介の後に、受講者それぞれから抱負を含め自己紹介を得た。

午前の講習では、受検にあたり事務手続き等について、富山委員長が説明し、理論講習では、全日本HP「受検のために」を視聴し、そのポイントについて、後藤技術員が説明した。その後、受検経験談として、昨年度の合格者である条川弘一（宇都宮）様からアドバイスを得た。

午後の講習では、高野・渡辺・戸塚技術員から、それぞれの担当項目について、経験談を交えポイントを説明した。その後、受検資格別に分かれグループディスカッションとし、受検に当たりの疑問点など共有し確認した。最後に今回の受検にあたり「指導者になるにあたっての抱負・指導者像について」レポートの提出をいただいた。

受講者においては、真剣な眼差しで受講され、積極的に意見を述べるなどお互いに受検に向け意識を高め、共に全員が合格する意気込みであった。

準指導員受検者養成講習会(B)

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2022年12月17日(土)
3. 会 場 ハンターマウンテン塩原
4. 担 当 理 事 富山英幸
5. 講 師 新井和夫
6. 参 加 人 数 11名 (準指導員受検者, SATスキーインストラクター)
7. 日 程
 - 1 開 会 (8:45)
 - 2 あいさつ 齋藤会長、新井副本部長
 - 3 講習 AM 理論
PM 実技
 - 4 閉 会 (16:00)
8. 概 要

午前中は新井安全対策委員長より、2階会議室にて、テキスト「日本スキー教程安全編」を用いてスキー場での危険性や事故が起きた際の対処法について理論講習を行った。さらに、三角巾を用いた応急処置の方法についての実習を行った。

午後新井安全対策委員長より、ゲレンデにて、講習行なう際の安全面での配慮事項をはじめ、実践的な講習を行った。

実践的講習は、2班に分け、同行者が左肱と左膝を負傷してしまい、現場はパトロールを呼べない状況にあり、同行者がゲレンデ下部まで搬送しなくてはならないことを想定し行われた。その救助方法は、負傷者のスキーとストック、救助に当たる方のストックにより、搬送そりを作成し、その搬送そりに負傷者を乗せ、ウォール下部からロッジ前まで搬送した。搬送中にそりが壊れ・直すを何度も繰り返しながら、受講者は汗だくになり、救助方法と救急の重みを体験により実感され、有意義な講習となった。

指導員・準指導員受検者養成講習会(C-1)

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2022年12月24日(土)・25日(日)
3. 会 場 ハンターマウンテン塩原
4. 担 当 理 事 富山英幸, 人見俊行
5. 講 師 後藤知昭, 高野正基, 塩野康幸, 菅原 豊
6. 参 加 人 数 37名
7. 日 程
 - 第1日目
 - 1 開 会 (9:30)
 - 2 あいさつ
 - 3 スタッフ紹介
 - 4 講 習
 - 5 講習終了 (15:30)
 - 第2日目
 - 1 講習開始 (9:00)
 - 2 講 習
 - 3 講習終了
 - 4 閉会式 (15:30)

8. 概要 指導員・準指導員受検者養成の実技研修の第1回目として、日帰り2日間の行程で行った。指導員受検者を高野正基技術員が担当し、準指導員受検者を後藤知昭技術員、塩生康幸技術員、菅原豊技術員が担当した。
- 第1日目朝から雪が降りしきりの午前中は全員で、基本動作の確認を実施した。午後は各班に分かれて講習を行い技術員が演技し、解説を加えながら受検者への理解を図った。その後ポジションやスタンス等について各受検種目の基礎となる部分から練習をスタートさせた。
- 第2日目は粉雪が降りしきり極寒の中ではあったが、正指受検者は高野技術員が担当し正確な技術の習得に向け講習が行なわれた。準指受検者は後藤技術員班、塩生技術員班、菅原技術員班に分かれて一人一人に対応した密度の濃い講習を行った。
- シーズン初めにしては十分な積雪があり、雪質もよく充実した内容の講習会となった。次回の講習会に向けて受検者が課題意識をもって練習に取り組むためのきっかけ作りになった。

指導員・準指導員受検者養成講習会(C-2)

1. 主催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2023年1月14日(土)・15日(日)
3. 会場 マウントジーンズ那須
4. 担当理事 富山英幸、泉裕之、佐山毅
5. 講師 高野正基、戸塚智子、後藤知昭
6. 参加人数 20名
7. 日程 1日目 受付 8:30~8:45
実技研修 9:00~11:30
実技研修 13:00~15:00
2日目 受付・検温 8:30~8:45
実技研修 9:00~11:30
実技研修 13:00~15:00
8. 概要 養成講習会C-1で学んだことをベースに各検定種目を実践し、ポイント等の理解を深める講習を実施した。2日間ともほぼ快晴と天候には恵まれた。積雪量が少なくかつ気温が高くなり柔らかい雪質であったが、スキー場関係者の絶大なご協力により、良いコンディションで講習を進めることができ、有意義な2日間となった。

指導員・準指導員受検者養成講習会(C-3)

1. 主催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2023年2月18日(土)・19日(日)
3. 会場 マウントジーンズ那須
4. 担当理事 泉裕之
5. 講師 後藤知昭、高野正基、戸塚智子、塩野康幸、渡辺勇太
6. 参加人数 41名
7. 日程
- | 第1日目 | 第2日目 |
|------------|--------------|
| 1 開会(9:00) | 1 講習開始(9:00) |
| 2 あいさつ | 2 講習 |
| 3 スタッフ紹介 | 3 講習終了 |
| 4 講習 | 4 閉会式(15:30) |

- 5 講習終了（15：30）
8. 概要 指導員・準指導員受検者養成の実技研修の第3回目として、日帰り2日間の行程で行った。指導員受検者を高野正基技術員が担当し、準指導員受検者を後藤知昭、戸塚智子、塩生康幸、渡辺勇太の4技術員が担当した。
- 班の人数が少ない講習会となったため、苦手な部分の克服に向けて一人ひとりにきめ細かく対応した練習をすることができた。1日目の午後に模擬検定を実施し、実際の検定バーンを使い指導員受検者も含めて一人一人の各種目の滑りのチェックをした。2日目はテクニカル、クラウンプライズ検定会用にスキー場の協力の下、一部コース規制が実施され、良好な条件下での講習となった。
- 2週間後の検定会に向けて今まで練習してきたこと自分のものとして、本番は自信をもって臨めるように伝えた。

第67回 準指導員検定会

- | | | |
|----------|---|--|
| 1. 主 | 催 | 栃木県スキー連盟 |
| 2. 期 | 日 | 2023年3月4日（土）～5日（日） |
| 3. 会 | 場 | マウントジーンズ那須 |
| 4. 県連役 | 員 | 渡辺陽一 |
| 5. 責任者 | | 芳野哲也 |
| 6. 担当理事 | | 松本 忍、富山 英幸、齋藤 敦史 |
| 7. 主任検定員 | | 後藤知昭 |
| 8. 検定員 | | 戸塚智子、塩野 康幸、渡辺 勇太 |
| 9. 現地総務 | | 芳野 哲也、富山英幸 |
| 10. 受検者数 | | 11名 |
| 11. 合格者数 | | 7名 合格率64% |
| 12. 日程 | | 1日目
8：15 ～ 8：30 受付
8：40 ～ 8：50 開会式(簡素化)
9：00 ～ 10：30 理論検定
12：30 ～ 15：00 実技検定
2日目
9：15 ～ 11：00 実技検定
13：00 ～ 13：30 閉会式(簡素化)合格発表、合格者事務手続き
マウントジーンズ那須会場となり2回目の検定会を迎えました。 |
13. 概要 昨年より1週間遅い開催の設定となり、ゲレンデコンディションが危惧されていましたがスキー場の協力もあり無事に開催することができました。両日とも天候に恵まれ、若干雪質が緩んだものの、スキー場の藤本支配人、増渕パトロール隊長等のスキー場全面バックアップの下、最高のコンディションにより、無事何事もなく、7名（64%）の合格者を持って、終了できました。関係者に感謝申し上げます。今シーズン、プライズテスト会場としていることから、スタッフにおいても戸惑うことなく執行が出来ました。
- 受検者が11名という少ない状況から、受検者増に繋がる検討が必要です。

栃木県スキー連盟 SATスキーインストラクター養成講習及び検定会

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2022年12月17日(土)～18日(日)
3. 会 場 ハンターマウンテン塩原
4. 本 部 スキー場センターハウス2F
5. 担 当 理 事 松本 忍, 大谷昌弘
6. 講 師・検 定 員 芳野専門委員, 菅原 豊, 松本 忍
7. 参 加 人 数 5名
8. 合 格 者 数 5名(男性3, 女性2名) 合格率100%
9. 日 程

12月12日	13日
8:00～ 受付	9:00～12:00 講習
9:00～ 開会式	13:00～14:00 検定
9:15～12:00 講習	15:00～15:30 合格発表・閉会式
13:00～15:00 実技講習	
10. 概 要

1日目天候：雪
 準指導員受検者と共に、安全対策委員長である新井和夫 SAJ 教育本部専門委員の講師により、日本スキー協定「安全編」を教材とし講習が行われ受講者においては、スキー指導上での安全対策から対応まで熱心に受講された。

午後は、雪上において、新井専門委員のパトロールの経験を踏まえ、指導者として、指導中における安全配慮や注意点、万が一事故や怪我人に遭遇した場合の対応法について等、実践的な講習が行われた。

また、スキー指導法を踏まえ、翌日の検定会に向けての検定種目等の養成講習を、菅原技術員の指導により行われた。

2日目天候：晴
 午後行う検定会種目について、確認とトレーニングを行った。
 検定は基礎パラ(小回り)、基礎パラ(大回り)、プルークボーゲンの3種目を芳野専門委員・菅原技術員、富山理事で行った。
 熱心な受講から5名の合格となり、篠原教育本部長から合格証を各自に授与された。

公認スキー検定員(B・C級)検定会

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2023年3月18日(土)
3. 会 場 ハンターマウンテン塩原
4. 本 部 スキー場センターロッジ2F
5. 県 連 役 員 齋藤伸幸
6. 責 任 者 篠原 浩
7. 担 当 理 事 泉 裕之
8. 主 任 検 定 員 河崎英夫
9. 検 定 員 加藤康雄, 新田義之
10. 現 地 総 務 泉 裕之
11. 受 検 者 数 20名(B級 11名, C級9名)
12. 合 格 者 数 20名(B級 11名 合格率100%, C級9名 合格率100%)

13. 概要 要 みぞれ混じり湿雪の下での開催となった。受検者数は県外2名を含めた、B級11名、C級9名の合計20名にて、午前中に理論検定、午後からテクニカル・クラウンプライズ検定会を素材とした実技検定を実施した。結果は全員優秀な成績を収め、全員合格となった。

プライズテスト(第1回)

1. 主催 栃木県スキー連盟
 2. 期 日 2023年2月5日(日)
 3. 会場 マウントジーンズ那須
 4. 担当理事 齋藤敦史、松本 忍
 5. 現地総務 齋藤敦史、松本 忍
 6. 主任検定員 児山将之
 7. 検定員 増渕耕樹、矢野隆司、菅原 豊、長島瑞季
 8. 受検者 28名〔内訳〕クラウン 10名(男性 9名、女性1名)
 テクニカル18名(男性17名、女性1名)
 9. 合格者 1名(クラウン0名、テクニカル1名)
 10. 概要 今年度第1回のプライズテストがマウントジーンズ那須にて執り行われた。
 スキー場とパトロールと調整し、一般のお客様へ配慮しながら開催した。
 使用コースは、ワイルドウッドが閉鎖されたためサンダウン上部にて行った。総合滑降と大回りはコース半分を簡易的にセパレートし、小回り
 と小回り不整地はコース脇を使用した。セパレートにあたりパトロール
 スタッフの方々に協力していただいた。
 技術選手権と同様にジャッジシステムを使用し作業の効率化を図れた。
 今後に対応できる場合は積極的に活用していきたい。
 検定員のジャッジ精度向上のために事前講習のやり方を変更した。今までは班別で行っていたのを全体講習に変更し、各種目2本ずつ、受検生一人一人の滑りを5人の技術員で確認し事前に目合わせを行った。
 検定の結果、クラウン0名、テクニカル1名の合格者を輩出することが出来た。

プライズテスト(第2回)

1. 主催 栃木県スキー連盟
 2. 期 日 2023年2月19日(土)
 3. 会場 マウントジーンズ那須
 4. 担当理事 松本 忍、橋本 晃輔
 5. 現地総務 松本 忍、橋本 晃輔
 6. 主任検定員 矢野 隆司
 7. 検定員 児山 将之、加藤 康雄、岡 豊、吉成 聡
 8. 受検者 27名〔内訳〕クラウン 6名(男性 6名、女性0名)
 テクニカル 21名(男性21名、女性0名)
 9. 合格者 3名(クラウン0名、テクニカル3名)
 10. 概要 天候：快晴
 (日 程) 8:20 ~ 8:40 受付

	開講式はコロナ対策により不開催
8 : 45 ~ 12 : 45	事前講習
13 : 00 ~ 15 : 30	検定会
16 : 00 ~ 16 : 30	合格発表、事務手続き
	閉講式も同様に不開催

(概要・所見)

今年度第2回のプライズテストがマウントジーンズ那須にて執り行われた。

スキー場とパトロールと調整し、一般のお客様へ配慮しながら開催した。

プライズ受検者1名が、事前講習前の自主練習にて単独で転倒し足を痛めたためキャンセルとなった。時頼小雨が降り、気温も暖かかったことから雪質はザラメ状態で受検者に対しては厳しい条件であった。

使用コースは、第1回と同じサンダウン上部にて行った。総合滑降と大回りはコース半分を簡易的にセパレートし、小回り和小回り不整地はコース脇を使用した。セパレートにあたりパトロールスタッフの方々に協力していただいた。今回もジャッジシステムを使用し問題なく稼働できた。

前回同様、検定員のジャッジ精度向上のために事前講習を全体講習に変更し、各種目2本ずつ、受検生一人一人の滑りを5人の技術員で確認し事前に目合わせを行った。

検定の結果、クラウン0名、テクニカル3名の合格者を輩出することが出来た。

プライズテスト(第3回)

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2023年3月18日(土)
3. 会 場 ハンターマウンテン塩原
4. 担 当 理 事 松本 忍、大谷昌弘
5. 現 地 役 員 松本 忍、大谷昌弘
6. 主 任 検 定 員 矢野隆司
7. 検 定 員 増渕 耕樹、鈴木 幸展、小澤 大輔、泉 悠太
8. 受 検 者 34名〔内訳〕クラウン 19名(男性13名、女性1名)
テクニカル 15名(男性14名、女性1名)
9. 合 格 者 4名(クラウン0名、テクニカル4名)
10. 概 要 天候：みぞれ
(日 程) 8 : 00 ~ 8 : 20 受付
8 : 30 ~ 12 : 30 事前講習
13 : 00 ~ 15 : 30 検定会
16 : 00 ~ 16 : 30 合格発表、事務手続き

(概要・所見)

検定会当日の天候はみぞれと雪が入り混じった、難しいコンディションの中で行われました。

そのような中、ハンターマウンテン塩原の土屋支配人のスキー場全面バックアップの下、パトロールによるコース整備・閉鎖等、皆様のご協力により、怪我人・接触事故等も無く、検定会を無事に4名の合格者を持って、終了できました。関係者に感謝申し上げます。

事前講習ではクラウン1班、テクニカル2班の編成で実施した。最初にジャッジの観点を受検生に詳しく伝えるために技術員によるデモンス

トレーニングを行い、各種目について詳しく説明した。

プライズテスト(第4回)

- | | | |
|------|---|--|
| 1. 主 | 催 | 栃木県スキー連盟 |
| 2. 期 | 日 | 2023年4月1日(土) |
| 3. 会 | 場 | ハンターマウンテン塩原 |
| 4. 概 | 要 | (概要・所見)
3月からの高温と連日の雨により、会場のハンターマウンテン塩原の積雪不足のため本事業を中止した。
教育本部最後の事業として開催したかったが、この時期の雪上事業は年々温暖化の進行によりとても難しい状況にある。 |

スペシャルトレーニング '23

- | | | |
|------------|---|---|
| 1. 主 | 催 | 栃木県スキー連盟 |
| 2. 期 | 日 | 2023年1月8日(日) |
| 3. 会 | 場 | ハンターマウンテン塩原 |
| 4. 担 当 理 事 | | 富山英幸 |
| 5. 講 師 | | 後藤知昭, 高野正基, 鈴木幸展, 佐藤公一 |
| 6. 参 加 人 数 | | 23名 |
| 7. 概 要 | | 快晴により、比較的暖かい日ではあったが、バーンは締っており、受講者にとっては、絶好の講習日和となったことと思います。
昨シーズンの参加状況から、事前申し込みが無く、参加者の有無について、当日まで心配しておりましたが、指導員受検予定者7名、準指導員受検予定者7名、テククラを目指している方9名の計23名の参加があり、安堵しているところです。それぞれ目的を達成するための意気込みを感じました。特に、テククラを目指されている方々から申し込みがあった事は、今後、検定のみならず継続を踏まえ、合格に向けた育成について、検定プライズ委員会と活性化に向けた取組も含め協議が必要と感じました。 |

教育関係職員及び学校教職員スノースポーツ講習会

- | | | |
|------------|---|--|
| 1. 主 | 催 | 栃木県スキー連盟 |
| 2. 後 | 援 | 栃木県教育委員会 |
| 3. 期 | 日 | 2023年2月4日(土)～2月5日(日) |
| 4. 会 | 場 | 会津高原 だいくらスキー場 |
| 5. 本 部 宿 舎 | | リゾートイン台鞍 |
| 6. 県 連 役 員 | | 高松守一副会長 |
| 7. 担 当 理 事 | | 橋本晃輔 |
| 8. 責 任 者 | | 篠原 浩 |
| 9. 講 師 | | 《スキー》戸塚智子, 藤田健司, 伊藤秀哲, 山中武史, 菅野康三
《スノーボード》森山 貴史 |

10. 参加人数 18名

11. 概要 日程

第1日目

1 開 会 (9:00)

2 あいさつ

3 スタッフ紹介

4 講習開始 (9:30)

5 講習終了 (15:00)

第2日目

1 講習開始 (9:00)

2 検定 (11:00)

3 講習終了 (14:45)

4 事務手続き等 (15:00)

概要

3年ぶりの開催に、特に常連の参加者は、参加できたことに喜びを感じていた。

毎年の参加や同じ学校から数名の参加という方も多く、お互いに親睦を深めることができる講習となった。

技術レベル毎にスキーが5班、スノーボードが1班に分かれて講習を行った。

夜の懇親会は、コロナ禍を鑑み、「飲食なし」の会ではあったが、講習中のビデオを見て技術論などを交わしながら親睦を深めた。

一日目は快晴の中、班ごとにそれぞれのレベルに合わせて、時間いっぱいまで密度の濃い講習を行った。

二日目の検定では、受検者でない講習生も前走を務めるなど、全員で受検者の応援をしていた。そのお陰もあり、受検者は全員実力を十分に発揮することができた。

スキー検定では、1級1名、2級4名、3級1名、4級2名が合格した。

SAJ公認パトロール受検者養成講習会(A日程)

1. 主催 栃木県スキー連盟

2. 期 日 2022年12月22日(木)

3. 会 場 ハンターマウンテン塩原

4. 担 当 理 事 新井和夫

5. 講 師 新井和夫、増渕耕樹

6. 参 加 者 5名

7. 概 要 日 程

午前 理論、ロープ操法、救急法(三角巾)

午後 スキー実技種目(基礎種目、搬送種目)

概 要

今年度は本県初の公認パトロール検定会がハンターマウンテン塩原で開催されます。

受講生は過去最高の5名、SAJ コロナ対策特例措置により日赤救急法及びベーシックライフサポート認定証を取得及び取得予定者が対象となりました。

本連盟でもコロナ感染対策を徹底して講習会に臨みました。

本日は天候不順で強風の為、午前中に理論、ロープ操法、三角巾をそれぞれ検定種目の確認及び要領等を指導した。

搬送種目ではも搬送技術搬送技術の確認を行い、検定種目で講習を進めた。午後の実技種目でも強風の為、検定種目に沿って基礎的の所を主体に指導した。

A講習を修了して、受講生個々の課題がわかり、B講習までに習得すべきことが自覚することができ、意識の高揚につながる講習会となった。

SAJ公認パトロール受検者養成講習会(B日程)

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2023年2月8日(水)～9日(木)
3. 会 場 ハンターマウンテン塩原
4. 担 当 理 事 新井和夫
5. 講 師 新井和夫, 三森友洋
6. 参 加 者 5名
7. 概 要 日 程
 - 1日目
 - 午前 スキー実技種目(基礎種目、搬送種目)
 - 午後 理論、ロープ操法、救急法(三角巾)
 - 2日目
 - 午前 スキー実技種目(基礎種目、搬送種目)
 - 午後 理論、ロープ操法、救急法(三角巾)概 要
 - A講習と同様にコロナ対策を徹底して行い講習に臨んだ。
 - B講習が2日間になった事で内容も充実して、各種目の要領等をしっかりと身に付ける事が出来た。
 - ロープ操法、三角巾種目についても規定時間内に概ね課題をクリアしている。また理論についてもポイントは説明しているので、結果が出ると信じています。

SAJ 公認パトロール研修会

1. 主 催 全日本スキー連盟
2. 主 管 栃木県スキー連盟
3. 期 日 2023年2月14日(火)～15日(水)
4. 会 場 ハンターマウンテン塩原
5. 参 加 資 格 SAJ公認パトロール
6. 責 任 者 斎藤伸幸
7. 県 連 役 員 篠原 浩
8. 会 場 責 任 者 新井和夫
9. 担 当 理 事 新井和夫
10. 主 任 講 師 新井和夫
11. 講 師 三森友洋
12. 参 加 者 3名
13. 概 要 日 程

1 日目

08：30～	開会式
09：00～12：00	実技研修
12：00～13：00	昼食
13：00～16：00	実技研修
16：00～18：00	理論研修

2 日目

09：00～12：00	実技研修
12：00～13：00	昼食
13：00～15：00	実技研修
15：00～	閉会式

概要

コロナ禍の研修会で参加者が3名にとどまったことは残念ですが、その分内容の濃い充実した研修会を行えました。初日は今年度の研修会テーマの横滑りを軸に、スキー技術を研鑽した。2日目はハンターパトロールと共同でコースアウトした負傷者を想定した救助訓練を実施した。過去に起きた症例を基にシュミレーションして行った。

次年度は多数の参加者出る様な研修会を開催したい。

選手強化合宿(1次)

- | | | |
|----------|---|--|
| 1. 主 | 催 | 栃木県スキー連盟 |
| 2. 期 | 日 | 2022年12月26日(月)～27日(火) |
| 3. 会 | 場 | ハンターマウンテン塩原 |
| 4. コー | チ | 特別外部講師：石田俊介
県連コーチ： 齋藤貴次, 神山健樹, 鈴木幸展 |
| 5. 参 加 人 | 数 | 12名 |
| 6. 概 | 要 | 今年も石田俊介ナショナルデモを招いての合宿を行った。ターンの始動期のポジショニングを中心に基本的な運動の確認を行い、その動きを実践にむすびつけていった。基本的な動きが板の走りにつながることを確認した。 |

選手強化合宿(2次)

- | | | |
|----------|---|---|
| 1. 主 | 催 | 栃木県スキー連盟 |
| 2. 期 | 日 | 2023年1月9日(月：祝) |
| 3. 会 | 場 | ハンターマウンテン塩原 |
| 4. コー | チ | 芳野哲也, 齋藤貴次, 神山健樹 |
| 5. 参 加 人 | 数 | 19名 |
| 6. 概 | 要 | 天候、バーン状況に恵まれとても良いトレーニングができた。今年度は全日本スキー技術選手権大会も規制種目が多いので種目の設定を含めジャッジの求める運動、種目それぞれのポイントをおさえた中で滑りの質を高めるトレーニングをおこなった。県予選直前の合宿なので選手のモチベーションも高く、20代の若手の参加も増えたので切磋琢磨しとても良い雰囲気合宿ができた。同時にジャッジ研修も行ったのでジャッジ陣と意見を交わしながら選手、ジャッジ双方の技術向上をはかった。 |

選手強化合宿(3次)

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2023年2月13日(月)～15日(水)
3. 会 場 白馬八方尾根スキー場
4. コ ー チ 斎藤貴次, 神山健樹, 塩生康幸, 鈴木幸展
5. 参 加 人 数 5名
6. 概 要 白馬八方尾根スキー場の設定したトレーニングディに合わせてのトレーニング。初日は雨から濃霧になりスキー場下部でトレーニング、2日目、3日目は冬型の天気で降雪となったが他県の選手も集まる中でのトレーニングはとても刺激になり中身の濃い合宿となった。正確なポジション、タイミングの良い運動ができるようにトレーニングした。初出場の選手も数名いるので多くの課題が見つかった合宿となった。

第34回北関東スキー技術選手権大会

1. フロック構成 埼玉県、茨城県、群馬県、栃木県
2. 期 日 2023年1月27日(金)～29日(日)
3. 会 場 群馬県 鹿沢スノーエリア
4. 本 部 役 員 芳野哲也, 斎藤貴次
5. 審 判 員 川口 悟, 鈴木幸展
6. 本 県 役 員 篠原 浩
7. 監 督 コ ー チ 加藤康雄, 戸塚智子, 新田義之, 佐藤公一
8. 参 加 人 数 30名
9. 概 要 1/27(金) 練習日
大会ゲレンデにて明日からの大会に向け、柔らかい雪の中、練習に励む。
1/28(土) 大会1日目
この日は前日の雪とは違い、快晴の中開催された。
栃木県選手は、各々素晴らしいパフォーマンスをしていたと思う。
明日の最終日も頑張ってもらいたい。
成績中間発表では、男女とも優勝の狙える位置に。
1/29(日) 大会2日目
最終日の天候も晴れ。残り2種目だが、選手は諦めずに滑り切った。
最終成績では、栃木県男女優勝となり、良かったと思う。
半面、上位選手と下位選手の差が出ているように思う。
この差を埋めることが、さらなる栃木県のレベルアップにつながると思う。
大会結果(上位選手)
男子
*福田 司(今市) 1位
*松田師成(黒磯) 6位
女子
*竹内さんご(ハンター) 1位
*中澤乃愛(ハンター) 4位

栃木県スキー連盟スノーボード部員会議

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2022年12月10日(土)
3. 会 場 ハンターマウンテン塩原
4. 担 当 理 事 大谷昌弘、泉 裕之
5. 講 師 長嶋俊明
6. 参 加 者 部員、小谷野洋道、大柿丈彦、及川義浩、小島弥生
7. 概 要 滑走可能ゲレンデが、スキー場最上部のみで、十分なコンディションの下での開催とはならなかったが、長嶋専門委員を中心として、冒頭の2時間を各行事の担当確認および、今年度の研修会テーマ理論確認に充て、その後昼食を挟み、午後3時まで雪上研修を実施した。

スノーボードデモンストレーターキャンプ

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2022年12月17日(土)
3. 会 場 ハンターマウンテン塩原
4. 担 当 理 事 泉 裕之
5. 講 師 清水由美SAJデモンストレーター、長嶋俊明
6. 参 加 人 数 4名
7. 概 要 滑走コースが3コース、かつ曇天で雪が舞う決して好条件とはいえないコンディション下での開催となったが、清水デモのテクニックを十分に伝授され、参加者には非常に有意義なキャンプが実施できた。参加者4名と少人数での開催ではあったが、内容的には非常に素晴らしいものであり、次年度は更なるPRを実施し参加者増員を図りたい。今冬一番の強い寒気が入り込み、雪が降りしきる中での厳しいコンディションではあったが、前日から山頂から山麓までのコースがオープンし、ロングコースが利用できる状況の中での開催となった。

全日本スキー連盟スノーボード指導者研修会 (資格移行講習含む)

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2022年12月18日(日)
3. 会 場 ハンターマウンテン塩原
4. 担 当 理 事 泉 裕之、
5. 主 任 講 師 長嶋俊明
6. 講 師 清水由美SAJデモ、小谷野、及川、小島各部員
7. 参 加 人 数 17名
8. 概 要 前日とはうらはらに、天候に恵まれ好コンディション下での開催となった。研修会16名に加え、移行講習1名を加え計17名の参加があった。
冒頭1時間強を長嶋専門委員より連盟伝達事項、おおび清水デモによる技術理論の座学にあて、昼食後11:45分より15:00分まで実技研修を実施した。シーズン当初の内容の濃い講習となり、参加者にとって

は、充実した研修会となった。

スノーボード指導員受検者養成講習会

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2022年12月25日（日）
3. 会 場 ハンターマウンテン塩原
4. 担 当 理 事 泉 裕之
5. 講 師 長嶋俊明、小島弥生
6. 参 加 人 数 1名
7. 概 要 冬型の気圧配置が強まり、風雪が強い中での実施となったが、本年度受検生が1名であるためにマンツーマンでの講習となり、非常に効率の良いものとなった。冒頭の1時間を理論講習、以降の時間を実技講習に充て、受講生にとって深い理解が得られたと思われる。

スノーボード準指導員受検者養成講習会

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2023年2月11日（土）～12日（日）
3. 会 場 会津高原 だいくらスキー場
4. 担 当 理 事 泉 裕之
5. 講 師 長嶋俊明
6. 参 加 人 数 栃木県1名 茨城県2名
7. 概 要 茨城県連との合同で開催された講習会であったが、2日間とも春を思わせる温暖な好コンディションの下での実施となった。1日目は午前に茨城県連と合同の実技研修。午後は栃木県単独での理論講習を行った。2日目は1日をとおして、栃木県単独での実技研修を行った。受検者2名のため、非常に効率的な有意義な講習会となった。

第21回栃木県スキー連盟スノーボード準指導員検定会

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2023年3月11日（土）
3. 会 場 会津高原 だいくらスキー場
4. 県 連 役 員 齋藤伸幸
5. 責 任 者 篠原 浩
6. 担 当 理 事 大谷昌弘、泉 裕之
7. 現 地 総 務 大谷昌弘、泉 裕之
8. 主 任 検 定 員 長嶋俊明
9. 検 定 員 小島弥生 根本 SAJ 技術員(茨城県)
10. 参 加 人 数 栃木県2名、茨城県1名
11. 合 格 者 数 栃木県2名、茨城県1名、(合格率100%)
12. 概 要 例年どおり、茨城県スキー連盟との2県合同開催として実施され、茨城県1名、本県2名の計3名での検定会となった。

開会式終了後、直ちに理論検定を行い、昼食を挟み実技検定を実施、天候に恵まれたため多少の雪の緩みも見られたが比較的好条件下、無事終了した。

結果、受検生全員が合格となり、晴れて指導者としての扉を開いた。毎年のことながら、本検定会に多大なるご尽力をいただいた、茨城県連飯村理事に謝意を表したい。

公認スノーボード検定員（B・C級）検定会

1. 期 日 2023年3月12日（土）
2. 会 場 会津高原だいらスキー場
3. 担 当 理 事 篠原 浩
4. 主 任 検 定 員 長嶋俊明
5. 検 定 員 及川義浩、小島弥生、
6. 参 加 人 数 B級4名、C級7名、計11名
7. 合 格 者 数 B級4名、C級7名、計11名（合格率100%）
8. 概 要 本県が主催する初めての事業となったが、受検者B級4名、C級7名と多くの募集があり、スノーボード事業の普及発展に向けた有意義な取り組みとなった。
当日は、理論、実技ともに会議室での検定となったが、特に動画素材を用いた実技検定は、SAJデモによるわかりやすい滑走実演により構成されており、雪上検定にはない利点も見受けられ受検者にも好評を得ていた。
結果として、理論、実技ともに受検者全体高い意識を持って受検に臨んでおり、全員が合格となった。

北関東スノーボード技術選 強化練習会

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2023年2月4日（土）
3. 会 場 群馬県 スノーパーク尾瀬戸倉
4. 担 当 理 事 大谷昌弘
5. コ ー チ 及川義浩
6. 概 要 天候に恵まれ良いコンディションの下での開催となった。大会と同設定のコースを使用して、選手にとっては、とても有意義な練習会となった。

第18回北関東スノーボード技術選手権大会 兼 第20回栃木県スノーボード技術選手権大会 (第20回全日本スノーボード技術選手権大会選考会)

1. 期 日 2023年2月5日（日）
2. 会 場 群馬県 スノーパーク尾瀬戸倉
3. 県 連 役 員 泉 裕之、大谷昌弘
4. 本 部 役 員 長嶋俊明、小谷野洋道、及川義浩、小島弥生
5. 参 加 人 数 10名

6. 概要 要 好天に恵まれ、非常に良いコンディションでの開催となった。ショート、ミドル、フリーの3種目が同一コートで実施され、効率良く大会は進展した。本県選手10名全員が素晴らしいパフォーマンスを繰り広げ、男女とも1位、2位を本県勢が獲得し、女子においては入賞6名中4名を占める好成績であった。今大会は、全日本S B技術選手権の選考会も兼ねており、8名の出場選手を決定した。

(最終成績(上位))

男子	益子良三(今市)	1位
	萩原悠太(足利S B)	2位
女子	清水由美(足利S B)	1位
	石田悦美(足利S B)	2位
	渡邊浩美(今市)	4位
	飯塚泰子(足利S B)	5位

第60回全日本スキー技術選手権大会

1. 期 日 2023年3月6日(月)～3月12日(日)
2. 会場 白馬八方尾根スキー場
3. 監督 齋藤貴次
4. コーディネーター 神山健樹, 塩生康幸, 鈴木幸展
5. 参加人数 8名
6. 概要 要 例年より1週間遅い開催で3月6日に集合、直前に福田司が前十字靭帯を損傷してしまい残念ながら欠場となってしまった。7、8日は公式トレーニングでウサギ平、黒菱の両コートで調整した。春を思わせる暖かい日差しの中ゆるんだ雪に苦戦を強いられた。予選初日はウサギ平の大回り、黒菱の不整地小回り、2日目はウサギ平整地小回り、黒菱の整地フリー、難易度の高い不整地に弱さを感じたが竹内さんご、中澤乃愛、松田師成の3名が決勝進出することができた。決勝は4種目で行われ若い3名の選手には今後の可能性を大いに感じた。技術選の求めるテクニックが板の切れ、走り、左右移動の速さ、ターン始動のポジショニングなので競技経験のある若い選手が今後増えていくと栃木に良いながれが来る。そう感じる大会だった。

大会結果

男子

*松田師成(黒磯)	85位
*杉田敦広(足利)	203位
*小笠原一徳(宇都宮)	250位
*小澤大介(宇都宮)	261位

女子

*竹内さんご(ハンター)	26位
*中澤乃愛(ハンター)	36位

第20回全日本スノーボード技術選手権大会

1. 期 日 2023年3月3日(木)～6日(日)
2. 会場 新潟県 石打丸山スキー場
3. 監督 小島弥生
4. コーディネーター 及川丈彦、県連役員 泉裕之、大谷昌弘
5. 参加人数 8名

6. 概

要 石打丸山に場所を移しての2度目の大会となる本大会は、3月2日の公式練習を幕開けとして、3、4日予選、5日決勝、6日デモンストレーター選考会の計5日間にわたり開催された。

本県勢は男子フリースタイル3名、女子フリースタイル5名の北関東予選を通過した計8選手が出場、また、6日に行われたデモンストレーター選考会には女子3名が参戦した。

大会期間中は予選初日に雪が緩み、雪だまりにボードをとられ転倒する選手が見受けられた以外は、概ね荒天に恵まれ、本県勢は日頃の実力を遺憾なく発揮できたように思われる。結果、男子フリースタイルで萩原選手が9位、女子フリースタイルで清水選手が5位と2名の入賞選手を輩出した。また、6日のデモンストレーター選考会において、前期に引き続き清水選手がSAJデモンストレーターとして認定された。

(最終成績)

フリースタイル男子	萩原悠太 (足利SB)	9位
	笹岡 岳 (今市)	124位
	遠藤真澄 (足利SB)	154位
フリースタイル女子	清水由美 (足利SB)	5位
	渡邊浩美 (今市)	14位
	飯塚泰子 (足利SB)	18位
	石田悦美 (足利SB)	36位
	福田記子 (宇都宮)	54位

SAJ教育本部・北関東ブロックスキー技術員研修会

- 期 日 2022年12月4日(土)～5日(日)
 - 会 場 群馬県 鹿沢スノーエリア
 - 参 加 者 SAJ専門委員 芳野哲也、斎藤貴次(本部役員)
栃木県選出SAJ教育本部スキー技術員14名
 - 概 要 今年度の研修会は、SAJ教育本部専門委員、各県連選出スキー技術員の参加により、1泊2日の日程で行われた。SAJ ナショナルデモ(徳竹剛、津村 悠)2名の師範により進められた。
- 第1日目の開会式後より雪上において、各班(県単位)に分かれて専門委員とナショナルデモによる解説とデモンストレーションを確認し実技の研修を行った。
- 今年度は「ターン始動時のポジショニング」を研修課題とし、昨年度の研修課題である3つの基本動作(ポジショニング、エッジング、荷重動作)を確認しつつ、ターン始動時のポジショニング、エッジングを低速で集中的にトレーニングを行い理解を深める事が出来た。
- 夕方からは、さらに理論研修として専門委員から、スキー学校委員会、技術強化委員会、検定委員会、及び安全対策委員会の伝達が行われた。
- 第2日目は、朝から各班に分かれ昨日の復習と習熟を実践した。昨日の雪上研修と理論を振り返りながらの再確認を行い、検定会などによる細かな視点など、より深いトレーニングをした。午後には県連ごとの対処法の確認を行うなど、専門委員とナショナルデモからの一方的な技術伝達のみならず双方からのコミュニケーションにより充実した内容の研修となった。
- 今シーズンは積雪量が少なく、十分な研修には条件が厳しかったが、一般のお客さんも比較的少なかったことで各班とも滑走量を確保できて内容の濃い研修となった。
- また一番はスキー場関係者のコース作り等の協力により研修会が無事に開催できた事に感謝したい。

SAJ教育本部・北関東ブロックスノーボード技術員研修会

1. 期 日 2022年12月3日(土)～4日(日)
2. 会 場 群馬県 鹿沢スノーエリア
3. 参 加 者 長嶋俊明(専門委員)
4. 日 程
 - 12月2日夜集合 北関東ブロック スノーボード役員(技術員含む)
 - 12月3日(土)
 - 9:30 スキー合同開会式
 - 10:30 A級検定員検定会
 - 12:00 昼食
 - 13:00 雪上:研修課題(テーマ)理解の共有の為の実践
 - 15:30 終了
 - 12月4日(日)
 - 9:00 理論:4日の復習と確認
 - 9:45 雪上:検定種目の理解(1～5級、準指導員、指導員)
 - 11:30 終了
 - 12:00 スキー合同閉会式
 - 13:00 スノーボード委員、技術員、専門委員での最終確認
 - 14:00 解散
5. 概 要

全日本から清水由美 SAJ スノーボードデモンストレーター(栃木県連所属)が派遣され今年度の研修課題の理解と共有を理論、雪上と渡辺専門委員主導で技術員への確かな伝達が行われた。

規定規約に関しては昨年度スノーボード検定員制度が施行され、初のA級検定員検定会を渡辺専門委員が主任検定員とし各県連技術員と推薦者を対象に実施した。

円滑に実施でき混乱もなく、全員合格となった。

SAJ教育本部・北関東ブロックスキーパトロール技術員研修会

1. 期 日 2022年12月9日(金)～11日(日)
2. 会 場 ビラタス蓼科スノーリゾート
3. 参 加 者 新井和夫
4. 概 要 SAJパトロール専門委員として講師で参加

SAJ公認パトロール検定会

- 期 日 2023年2月23日(金)～25日(日)
2. 会 場 ハンターマウンテン塩原
3. 参 加 者 会長 齋藤幸伸、教育本部長 篠原 浩(開会式役員として参加)
4. 概 要

SAJ公認スキーパトロール検定会(第2会場)として、ハンターマウンテン塩原で開催された。検定会の概要は以下のとおりでした。

 - ・主 催 (公財)全日本スキー連盟
 - ・本部宿舎 塩原山荘
 - ・責 任 者 富樫泰一SAJ担当理事
 - ・主任検定員 上杉一哲SAJ安全対策部長
 - ・検 定 員 川内慎吾、辺見秀利、南 順正、久保田 稔、林 護
 - ・総務主任 新井和夫

- ・現地役員 分田久貴、松本 忍、増淵耕樹
- ・受検者数 45 名（うち栃木県スキー連盟会員 5 名）
- ・合格者数 36 名（うち栃木県スキー連盟会員 5 名）
- 合格率：80.0%（うち栃木県スキー連盟会員 100%）

SAJ加盟団体教育本部長連絡会議 （SAJウィンターフェス2023）

- | | | |
|------|-----|--|
| 1. 期 | 日 | 2023年4月16日（日）～17日（月） |
| 2. 会 | 場 | GARA湯沢スノーリゾート |
| 3. 参 | 加 者 | 篠原 浩 |
| 4. 概 | 要 | スノースポーツをする機会の提供、健康保持促進を図るとともに、各エリアの施設価値の向上、地域の一体感や活力を醸成するとともに地域の資源として社会的、経済的効果を発揮させることを目的に教育本部長連絡会議が開催された。 |

SAJ全国安全対策委員長会議

- | | | |
|------|-----|--|
| 1. 期 | 日 | 2022年11月5日（土） |
| 2. 会 | 場 | オンライン会議 |
| 3. 参 | 加 者 | 安全対策委員長 新井和夫 |
| 4. 概 | 要 | 審議事項
1. 2023 SAJ 教育本部安全対策部事業計画
2. 2023 SAJ 教育本部安全対策部研修会テーマ
3. 2023 SAJ 教育本部「資格検定受検者のために」
4. 各加盟団体安全対策委員会より審議事項
5. その他 |

所見

今年度も新型コロナ対策で3年連続のオンライン会議となりました。
またコロナ対策も昨年からの継続で日赤救急法の特例措置を行います。

本連盟としては公認パトロール検定会を行う、ホスト県として説明及びPRを行った。

2023年度 各種資格検定合格者名簿
公認スキー指導員 合格者

No	氏 名	所 属
1	金澤 祐司	那須
2	高橋 尚史	那須
3	土橋 雄介	宇都宮
4	富山 愛佳	宇都宮
5	福田 健史	宇都宮
6	長島 瑞季	足利
7	齋藤 真	佐野
8	竹内 康憲	佐野
9	阿久津 啓一	黒磯
10	齋藤 敦史	那須塩原
11	鷹栖 雅峰	大田原

公認スキー準指導員 合格者

No	氏 名	所 属
1	大谷 雄一	那須
2	永田 佑佳	那須
3	小川 樹	宇都宮
4	吉田 裕之	鷄頂山
5	廣江 登	今市
6	益子 共則	黒磯
7	齊藤 剛	大田原

公認スノーボード指導員 合格者

No	氏 名	所 属
1	合格者なし	—

公認スノーボード準指導員 合格者

No	氏 名	所 属
1	岡村 昭夫	日光
2	岡田 一正	黒磯

公認スキーパトロール 合格者

No	氏 名	所 属
1	手塚 聖一	氏家
2	竹内 悠里亜	小山市
3	阿部 花恋	那須
4	石田 篤	黒磯
5	田口 拓一郎	那須

公認スキーA級検定員 合格者

No	氏 名	所 属
1	渡辺 勇太	那須
2	菅原 豊	那須

公認スキーB級検定員 合格者

No	氏 名	所 属
1	金澤 祐司	那須
2	高橋 尚史	那須
3	土橋 雄介	宇都宮
4	福田 健史	宇都宮
5	長島 瑞希	足利
6	齋藤 真	佐野
7	阿久津 啓一	黒磯
8	鷹栖 雅峰	大田原
9	齋藤 敦史	那須塩原
10	今野 太生	神奈川県
11	田山 俊汰	千葉県

公認スキーC級検定員 合格者

No	氏 名	所 属
1	宇津 照久	那須
2	大谷 雄一	那須
3	永田 佑佳	那須
4	小川 樹	宇都宮
5	吉田 裕之	鷄頂山
6	竹内 康憲	佐野
7	福田 司	今市
8	益子 共則	黒磯
9	齊藤 剛	大田原

公認スノーボードB級検定員 合格者

No	氏 名	所 属
1	鈴木 満春	今市
2	渡邊 浩美	今市
3	鈴木 滋	黒磯
4	新井 健之	東京都

公認スノーボードC級検定員 合格者

No	氏 名	所 属
1	金子 博幸	那須
2	阿保 友也	小山
3	大柿 丈彦	今市
4	大坂 純一	今市
5	吉羽 敏昭	今市
6	岡田 一正	黒磯
7	森田 清美	東京都

SATスキーインストラクター 合格者

No	氏 名	所 属
1	金谷 淳美	日光
2	金谷 武尊	日光
3	茂木 貞夫	那須
4	藤村 大輔	鷄頂山
5	阿久津 沙織	黒磯

バッジテスト 合格者

[クラウンプライズ]

No	氏 名	所 属
1	合格者なし	—

[テクニカルプライズ]

No	氏 名	所 属
1	廣川 雅洋	栃木県
2	茅野 俊幸	埼玉県
3	永島 英嗣	埼玉県
4	松本 直樹	埼玉県
5	茅野 智巳	群馬県
6	高沢 奏太	暫定会員
7	福永 篤史	暫定会員
8	西 直人	暫定会員

2024年栃木県スキー連盟強化指定選手名簿（教育本部）

【男子】

氏名	所属
吉成 聡	那須スキークラブ
上野 貴朗	宇都宮スキー協会
浦田 昌弘	
小笠原 一徳	
音村 保道	
折原 勲	
河崎 英夫	
木村 倫一	
小太刀 寛知	
斎藤 紀幸	
迫 和彦	
常磐 瑛貴	
中山 裕貴	
小澤 大介	
渡辺 賢孝	
蜂巢 恒平	鶏頂山スキークラブ
杉田 敦広	足利スキー協会
柿沼 良幸	佐野スキー協会
荒井 俊樹	今市スキー協会
福田 司	
高橋 学	矢板スキー協会
漆原 徳馬	黒磯スキー協会
松田 師成	
泉 悠太	上河内スキークラブ

【女子】

氏名	所属
小澤 嘉菜	宇都宮スキー協会
神沢 照代	
富山 愛佳	
長島 瑞季	足利スキー協会
竹内 さんご	ハンターマウンテンスキークラブ
中澤 乃愛	

2023シーズン 教育本部最優秀選手・優秀選手

最優秀選手

氏名	所属	区分	主な成績
該当者なし			

優秀選手

氏名	所属	区分	主な成績
松田師成	黒磯	スキー	全日本技選決勝 8 5 位
竹内さんご	ハンター	スキー	全日本技選決勝 2 6 位
中澤乃愛	ハンター	スキー	全日本技選決勝 3 6 位
萩原悠太	足利 S B	スノーボード	全日本技選決勝 9 位（入賞）